

示談契約書（記入例）

加害者

住所

氏名 ●●●●●(甲)

被害者

住所

氏名 ●●●●●(乙)

上記甲乙間において以下のように示談を締結する。

第1 事故の概要

事故の日時 : 平成●年●月●日 午後●時●分

事故の場所 :

加害車両 : 自家用普通乗用自動車（浜松300め●●●●●）運転手は甲

被害車両 : 自家用普通乗用自動車（浜松300め●●●●●）運転手は乙

第2 示談の内容

1. 甲は乙に対して上記事故の損害賠償金として金●万円の支払義務のあることを認める。

（内訳）治療費 金●万円也

休業補償費 金●万円也

慰謝料 金●万円也

物損 金●万円也

2. 甲は乙に上記損害賠償金を以下の通り支払う。

平成●年●月●日限り、下記の乙の銀行口座に振り込む。

（銀行口座）

●●銀行 普通預金 ●● 口座番号●●

3. 甲及び乙は、第1項の金員が将来の労働者災害補償保険からの給付金に何ら影響を及ぼさないことを確認する。

4. 甲及び乙は、上記事故に関し、相手方に対するその余の請求を放棄し、甲と乙の間に本書に定めるほか何らの債権債務の存しないことを相互に確認する。

5. 上記事故による傷害に基づき、将来乙に後遺症が発生した場合、甲は乙に後遺症損害の一切を賠償するものとする。

甲及び乙は、本示談の成立を証するため、本示談書を2通作成し各自1通保有する。

平成●年●月●日

加害者(甲) ●●●●● 印

被害者(乙) ●●●●● 印

示談契約書

加害者
住所
氏名
(甲)

被害者
住所
氏名
(乙)

上記甲乙間において以下のように示談を締結する。

第1 事故の概要

事故の日時 : 平成 年 月 日 時 分
事故の場所 :
加害車両 : 運転手は甲
被害車両 : 運転手は乙

第2 示談の内容

6. 甲は乙に対して上記事故の損害賠償金として金 万円の支払義務のあることを認める。

(内訳) 治療費 金 万円也
休業補償費 金 万円也
慰謝料 金 万円也
物損 金 万円也

7. 甲は乙に上記損害賠償金を以下の通り支払う。

平成 年 月 日限り、下記の乙の銀行口座に振り込む。

(銀行口座) 銀行 普通預金 口座番号

8. 甲及び乙は、第1項の金員が将来の労働者災害補償保険からの給付金に何ら影響を及ぼさないことを確認する。

9. 甲及び乙は、上記事故に関し、相手方に対するその余の請求を放棄し、甲と乙の間に本書に定めるほか何らの債権債務の存しないことを相互に確認する。

10. 上記事故による傷害に基づき、将来乙に後遺症が発生した場合、甲は乙に後遺症損害の一切を賠償するものとする。

甲及び乙は、本示談の成立を証するため、本示談書を2通作成し各自1通保有する。

平成 年 月 日

加害者(甲) 印

被害者(乙) 印